

令和6年度特別セミナーアンケート集計

【セミナー概要】

1. 趣 旨

介護保険制度における福祉用具サービスに関しては、要援護高齢者の日常生活自立支援及び重度化防止の観点からも適切なマネジメントが求められます。そして、この度の制度改正においては、「介護保険制度における福祉用具貸与・販売種目のあり方検討会」が設置されました。そこでは、福祉用具貸与・販売に関する「安全な利用の促進」、「サービスの質の向上」、「給付の適正化」が論点となり、今後の福祉用具貸与計画やモニタリング等が議論されております。

本研修会では、上記検討会に委員として就任された日本介護支援専門員協会副会長、七種秀樹氏をお招きし、今後の介護支援専門員としての福祉用具サービスへのケアマネジメントのあり方を学び、また徳島県理学療法士協会会長鷲春夫氏からは福祉用具とICFとの関連性についてご講演いただきます。

2. 主 催 一般社団法人 徳島県介護支援専門員協会

3. 対 象 者 介護支援専門員、医療・福祉関係者、福祉用具事業者 地域包括職員、自治体職員、その他関心のある方

4. 日 時 令和6年10月12日(土)13:00～16:00

5. 場 所 徳島グランヴィリオホテル

6. 講 演

第1部 13:10-14:40

演題「福祉用具サービスの適切なマネジメントのあり方を考える

～重度化防止・自立支援への取り組み～」

講師 一般社団法人 日本介護支援専門員協会 副会長 七種 秀樹 氏

第2部 14:50-15:50

演題「ICF視点に基づくケアマネジメントと福祉用具の活用

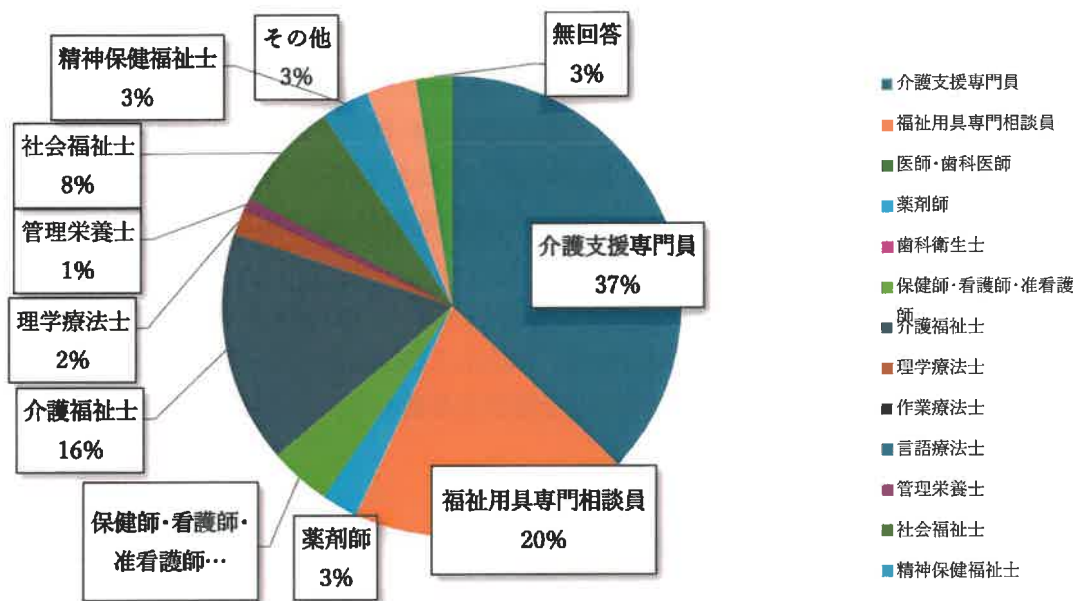
～利用者のよりよい人生への支援を実現～」

講師 公益社団法人 徳島県理学療法士会 会長 鷲 春夫 氏

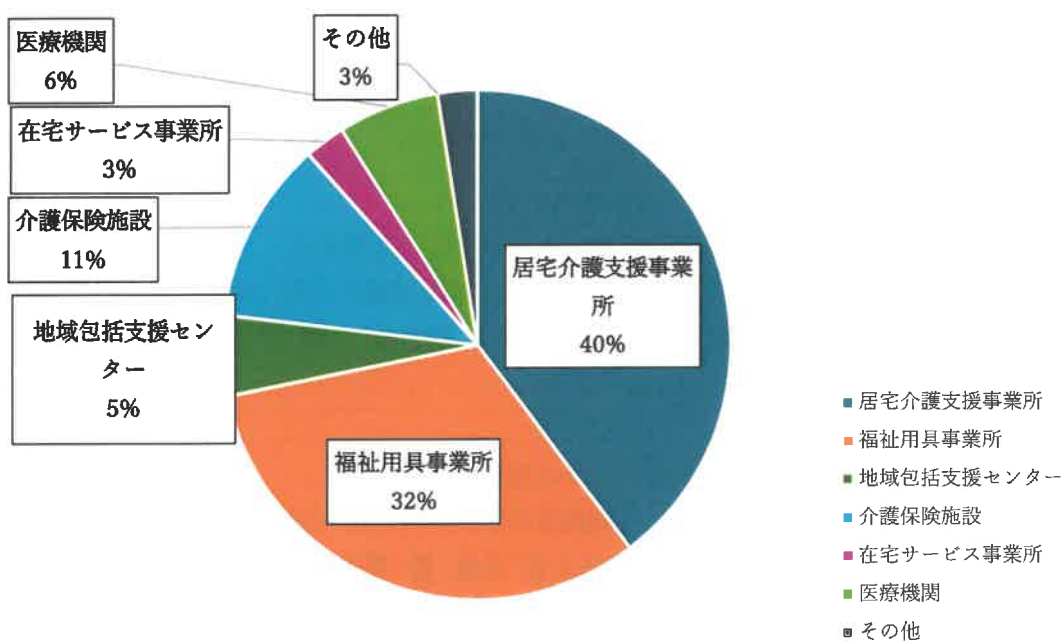
【アンケート集計結果】

セミナー参加者106名 アンケート回答者78名

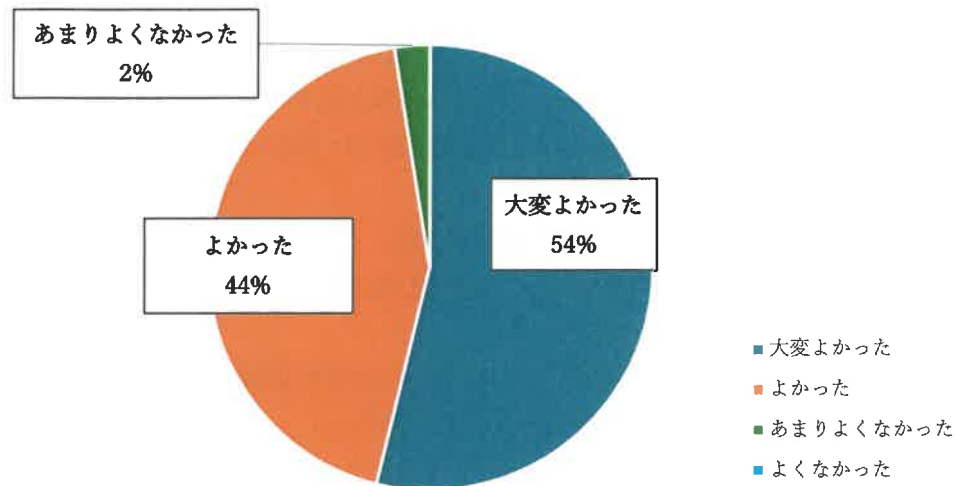
(1)保有資格（複数回答）



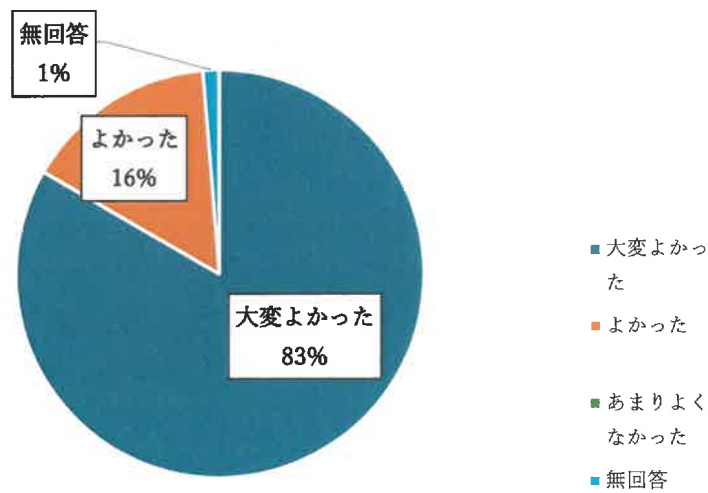
(2)所属機関



(3)第1部講演について



(5)第2部講演について



(4)(3)の回答理由 *自由記述、職種毎に記載*

【介護支援専門員】

- ・「既存のものを活用する」という説明を受け安心することができた。
- ・「見聞き」ということで表出されている自分たちの声が反映されていることを知った。
- ・結果のみでなく決定過程の解説は新鮮だった。改正の経緯が良く分かった。
- ・最近の福祉用具に特化した話が伺えた。
- ・福祉用具の選択制のプロセスにおいての疑問点が分かった。
- ・福祉用具のモニタリングを専門職の意見を参考にもう少し考えないといけないと感じた。
- ・介護支援専門員が押さえておく事項が再認識できた。
- ・現実的に対応を行った事例があり、保険者に食い違いがあり対応に困惑した。
- ・今回の変更のプロセスが分かり必要な説明や支援も対応しやすい。
- ・福祉用具専門相談員との連携方法。今後、注意していく点について理解できた。
- ・ケアマネと福祉用具専門員の役割の再確認できた。
- ・福祉用具販売時のメリット、デメリットの説明をしっかりと伝えたい。
- ・ケアプラン作成時に注意することが分かった。
- ・選択するにあたり、情報提供の具体的内容が分かった。
- ・貸与と販売の選択について、ケアマネとしての支援の仕方がよくわかった。
- ・福祉用具だけのサービスも在宅生活を支えるツールとして重要であることが分かった。

【福祉用具専門相談員】

- ・介護支援専門員の立場から見た選択制の見解が分かりやすくとても新鮮だった。
- ・制度決定までの普通知ることができない過程の話が聞けた。
- ・貸与・販売の選択制のプロセスを再確認できた。具体的な事例もあり業務に活かしやすい。
- ・ケアマネさんがどのように福祉用具について考えているか改めて知ることができた。
- ・貸与と販売の選択が良く分かった。
- ・連携が必要と感じた。
- ・福祉用具専門相談員としての在り方を再認識した。
- ・検討会の内容を詳細に解説してくれどんな流れで販売や選択制が導入されたか理解できた。
- ・入社6ヶ月ですが事例を交えての説明で想像しながら話が聞けた。
- ・福祉用具専門相談員の資格取得を目指している。テキストの内容だけでは現場の実情が分からず参考になった。
- ・利用者にメリット、デメリットを分かりやすく伝える。
- ・レンタル、販売について事業者のすべきことの違いを認識できた。

【薬剤師】

- ・ケアマネジメントが適正稼働できる環境が重要だと確認できた。
- ・貸与と販売のメリット、デメリット、福祉用具の手引き等を知ることができた。
- ・福祉用具の適切な利用により患者様のQOLの向上に繋がると思います。その安心・安定的な支援をケアマネさんがされていることが良くわかりました。
- ・福祉用具の販売と貸与についての現状と課題について大変分かりやすく学べました。

【理学療法士】

- ・ケアマネからの視点が学べた。
- ・中央省庁でのかけひき

【その他】

- ・福祉用具のマネジメントについて具体的な情報を得る事ができた。
- ・貸与と購入の違いについて考えることができた。

(6)(5)で回答した理由

自由記述 職種毎に記載

【介護支援専門員】

- ・ADLは頑張らなくてもできること。
- ・リハビリテーションは再び「笑顔」を取り戻すこと。
- ・現状維持のプランから楽しみ・夢のあるプラン作成へ、介護保険プランの学びになった。
- ・色々な新しい視点が学べた。
- ・夢や楽しみがあるプランなら利用者は頑張れる。目からウロコのように有意義な講演だった。
- ・改めて本人、支援者自身も楽しめるケアプランを作りたいと感じた。本人の自立支援のため、福祉用具のことをもっと知らなければいけないと感じた。
- ・本人の良いところ、強みを見つけた自立支援ケアプラン作成を行いたいと思った。
- ・維持を考えることが多かったので楽しみを見つけることを考えていきたいと思います。
- ・楽しみや喜びを関心を持つために機能をどうやって向上させていくか学んだ。プランをみて笑顔になり、やる気を起こせるような目標、利用者の方と考えたい。
- ・良いところを探して伸ばしていくことを新ためて知ることができた。
- ・利用者の生活が楽しくなるような目標設定の仕方や、利用者のできない所に着目するのではなく、できる所を見つけ伸ばせるようなプラン作成ができたと思いました。
- ・ICF理解と実際例が分かりやすかった。
- ・ICFの考えを忘れ気味になっていた。原点に戻ったように思った。何に興味を持っているかも知、楽しみ、喜びの持てるケアプランを作らなければいけない。残存機能評価等様々なことを自分で確認することが分かった。
- ・ICFのことが良く分かった。
- ・ICFの考え方を理解し、今後のケアマネジメントに活かしていきたい。
- ・利用者に合った環境作りの大切さ、どこまで機能が動くか確認方法を教えてくれたので活用していきたい。
- ・残存機能を活用したプランについて具体的に教えて頂いた。
- ・ケアマネができる残存能力の確認を知ることができて良かった。これから活用しようと思う。日常生活からの生活リハビリの内容もより詳しく分かってプランに入れることができると思った。
- ・身体能力や状態を知ること、介護用品を上手に取り入れて支援に結び付ける知識を身につけたい。
- ・いつも本人に向き合い、今より生活レベル、精神(意欲)レベルが上がることを思ってプラン作成しているが、まだ見落としとしていた点があり、前向きになりました。
- ・ケアマネとしてどのような自立支援プランを立案したら良いのか理解ができた。

- ・分かりやすく、具体的な内容で今後に活かせる内容であった。
- ・一つ一つ分かりやすく。頭で分かっているけど現実にはできていないことが多く、できることから取り組んでいきたい。
- ・日頃の業務に直結する内容だったのですごく良かった。
- ・専門職との連携がいかに重要か再確認できた。
- ・施設ケアマネだが、在宅復帰するに当たりどのような環境整備が必要かよく分かった。
- ・福祉用具に関わるが多く、自分の向上のためになった。
- ・福祉用具の活用について勉強になりました。施設では古い福祉用具が多く買い替えもなかなかできません。利用者に合った道具が使えません。施設でもレンタル利用できればと思う。在宅復帰に繋がりたい。
- ・具体例が豊富、現場に則した具体的な提案が分かりやすい。
- ・住宅改修、福祉用具の選定について基本に戻って考えようと思いました。利用者のことを自分の身内と考えて支援してみるのには良いことだと思いました。自分でも取り入れたい。

【福祉用具専門相談員】

- ・福祉用具を用いた自立支援をプロの立場から知れ、とても良かった。
- ・リハの視点で勉強になった。
- ・生活リハビリが最も良いというので自信が沸いた。
- ・全ての人は良いところを持っている。失ったものを数えるな。残っているものを活かせ。
- ・患者様の楽しみ、生きがいを見つけてサポートできるよう仕事をしていきたい。
- ・残存機能の確認法などの知識が学べた。
- ・机上のみで勉強した ICF について、実例を通じてもっと深く知ることができた。現場でも活かせるよう復習して楽しみが増えるよう提案したい。
- ・ICF の理解が深まった。「良いところを探す」
- ・ICF を理解することができた。具体的事例により参考になった。
- ・ICF の考え方を再認識できた。今後の福祉用具の提案に生かしていきたい。
- ・ICF の考え方と楽しみ、目的を作ることが自立支援の最大の援助となることが良く分かった。
- ・ICF という考え方を知らなかった。今後の仕事に活かしていきたい。
- ・ご利用者の立場に立って何が楽しみなのか今後参考にさせて頂く。
- ・福祉用具の使用の実例で大変勉強になった。選定の時に活用したい。

【薬剤師】

- ・ 良いところ(残存能力の活用)を探するという考え方にハッとした。
- ・ ICF の視点が大切だとよく分かりました。現状維持に対する考え方が変わりました。
- ・ 残存能力を活かした福祉用具の活用について詳しく学べた。また。ケアプランはより良い生活を送るため、楽しい人生を送るためのプランであることについて大変感銘を受けました。

【理学療法士】

- ・ ICF を改めて理解できた。
- ・ ICF に関し、再度認識を確認できた。

【その他】

- ・ ICF について理解することができた。日常の自立支援の具体的な方法が良く分かりました。
- ・ 住宅改修について考えさせられた。麻痺側に対するアプローチの方法についてもっと知りたいと思った。

(7)今後行ってほしい研修テーマ

- ・若年性認知症発症後の社会復帰
- ・ヤングケアラー支援
- ・成年後見
- ・BCP の訓練の方法や研修方法
- ・口腔内の機能を知る、家で行える口腔体操・訓練について
- ・家族の支援がない場合の対応
- ・生活保護等への結び付け方
- ・SV についてのセミナー
- ・他職種とケアマネの意見交換会
- ・他職種連携について
- ・退院後介護サービスを利用時の支援について
- ・施設ケアマネの研修
- ・施設ケアプランの作り方、マンネリにならないように
- ・福祉用具の小規模な展示会
- ・リハビリや福祉用具について
- ・福祉用具の使い方(応用編)実技指導
- ・福祉用具の使い方を実物を用いて
- ・福祉用具の専門的な知識が身につくような内容
- ・本日のようなテーマで定期的にして欲しい
- ・実際の福祉用具の使い方
- ・介護事務を主題にした研修

(8)ご意見、ご感想 *自由記述*

(介護支援専門員)

- ・利用者の良いところを見つけ、ワクワクできるプランができるようになりたいと思いました。
- ・七種先生鷺先生大変ありがとうございました。良かったです。今後に生かします。
- ・どちらも分かりやすく、またケアマネジャーが前向きになれる内容で良かった。
- ・とても分かりやすかった。
- ・具体的に教えてもらい良く分かった。
- ・整然と分かりやすく話してくれた。
- ・分かりやすい説明と声でよく理解できた。
- ・ケアマネに対する提言がやや現実から乖離しているか。
- ・福祉用具の正しい使い方を伝えられるように日々勉強していく。
- ・すぐに現場で実践できる内容が習得できた。
- ・長年の経験からくる具体的な知見が大変勉強になった。
- ・分かりやすかった。理解が深まった。
- ・現場の事を踏まえて発言されており共感が持てた。
- ・施設勤務で福祉用具の知識が乏しく勉強になった。
- ・単品プランについては無報酬の支援で改めて振り返ることができた。声を上げて言えることだと思った。納得のできるケアマネ業務の話で、心が救われる感じがした。

(福祉用具専門相談員)

- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・お世話になりました。
- ・勉強になった。
- ・介護分野だけでなくプライベートでも活用できると感じた。
- ・講師は何度かお会いしていますが、やはり弁の立つ方。初任者しかもっていない私でも理解しやすかったです。ポータブルトイレが頭側の方が良い場合は初めて知りました。もっと問題が多いと印象に残りやすい。

(理学療法士)

- ・興味深い内容で引き込まれました。大変お世話になりました。

(薬剤師)

- ・今後も研修会があれば参加したい。
- ・多職種で話をする上で知っておかないといけない話が聞けて大変参考になりました。今回のように参加できる機会を頂けて有難かったです。今後も参加したいです。
- ・普段学ぶことの機会の少ない介護分野での知識が深まりました。ありがとうございました。

【質問】

- ・住宅改修の手すり設置等で予算的に理学療法士にお願いできない場合はどうしたらいいか。

